

安全工学シンポジウム2007

— 安全工学の創造的発展 —

主催：日本学術会議総合工学委員会

共催：

| | | | |
|----------------|-----------|--------------|--------------|
| 安全工学会 | 化学工学会 | 火薬学会 | 計測自動制御学会 |
| 自動車技術会 | 静電気学会 | 地域安全学会 | 電気学会 |
| 電気化学会 | 電気設備学会 | 電子情報通信学会 | 土木学会 |
| 日本化学会 | 日本火災学会 | 日本機械学会 | 日本技術士会 |
| 日本経営工学会 | 日本計算工学会 | 日本原子力学会 | 日本高圧力技術協会 |
| 日本航空宇宙学会 | 日本材料学会 | 日本シミュレーション学会 | 日本信頼性学会 |
| 日本心理学会 | 日本船舶海洋工学会 | 日本素材物性学会 | 日本デザイン学会 |
| 日本鉄鋼協会 | 日本人間工学会 | 日本燃焼学会 | 日本非破壊検査協会 |
| 日本プラントメンテナンス協会 | 日本溶接協会 | 日本流体力学学会 | 日本冷凍空調学会 |
| 腐食防食協会 | 粉体粉末冶金協会 | 溶接学会 | 日本建築学会(幹事学会) |

協賛：

| | | | |
|--------|----------------|----------|----------------|
| 応用物理学会 | 色材協会 | 日本金属学会 | 日本知能情報フロンティア学会 |
| 日本膜学会 | 日本マシエン지니어リング学会 | 日本ロボット学会 | 有機合成化学協会 |

会期：2007年7月5日(木)、6日(金)の2日間

会場：日本学術会議 講堂・会議室

(東京都港区六本木 7-22-34 電話 03-3403-6291)

〔交通〕地下鉄千代田線「乃木坂」駅下車すぐ

特別講演：2題

7月5日(木) 13時～14時

自殺原因の分類と対策

樋口 輝彦 (国立精神・神経センター武蔵病院 院長)

7月6日(金) 13時～14時

海溝型巨大地震による長周期地震動と土木・建築構造物の耐震性向上に関する共同提言

秋山 宏 (日本建築学会前会長)

パネルディスカッション：2題

7月5日(木) 14時20分～17時

事故防止、被害軽減のために今取り組むべき、望まれること—各界の役割と進むべき道は？

7月6日(金) 14時20分～17時

建築物の安全と技術者倫理

オーガナイズドセッション：14題

7月5日(木)

- ・日本学術会議—工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会活動について
- ・テロや感染症に強い建物設計
- ・電気設備・電子機器の障害防止と安全対策
- ・福祉工学領域と安全

- ・高齢社会における地域防災の課題と展望
- ・自動車用安全部品（エアバッグ等）について
- ・介護労働者負担軽減のための人間工学的対策

7月6日(金)

- ・超高層建築における避難安全
- ・化学安全教育の方向性
- ・リスク情報活用の現状と展望
- ・企業における安全文化の構築について
- ・社会基盤施設のリスク管理ー建設から維持管理までー
- ・原子力発電所の確率論的安全評価
- ・医療の安全と健康（その2）

一般セッション：78題

参加費：入場無料。講演予稿集は当日会場で実費頒布

（1部5,000円、ただし学生は1部2,000円で頒布いたします）

懇親会：7月5日(木) 18時～20時「はあといん乃木坂」、会費4,000円

申し込み方法：自由参加。当日直接ご来場下さい。

問合先： 社団法人 日本建築学会 安全工学シンポジウム担当：柴田（shibata@aij.or.jp）

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 建築会館2階

電話：03-3456-2055、FAX：03-3456-2058

ホームページ：<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2007/anzen2007/>

※プログラムは変更になる可能性があります。最新情報はホームページから随時公開いたしますのでご覧下さい。